

令和5年度事業報告

【まえがき】

本会は、管理栄養士・栄養士によって組織されており、県民の健康づくりに貢献する職能団体として、その使命は、食に関することを通して、県民の栄養改善、健康の保持増進、生活習慣病の予防・改善に努めることにある。よって、管理栄養士・栄養士の社会的使命はますます高まりをみせ、その使命の達成に向けて努力することが求められている。

厚生労働省が実施する国民生活基礎調査による2022年（令和4年）の平均寿命では、本県は年々延伸しているものの、男女とも全国最下位の状態が続き、全国平均と比較すると男性1.78歳、女性0.76歳の差があり全国との格差が問題となっている。その要因として食塩摂取量の多さ、過度の飲酒、高い喫煙率等の食生活の問題を含む生活習慣があると考えられる。健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）は、本県女性は下位から脱し改善しつつあるものの、男性は下位のままであり全国との健康格差が縮まらない状況である。平均寿命・健康寿命の延伸とともに、その差の縮小が重要な視点の一つとして、青森県では2022年に健康寿命延伸に向けた取組みを重点的に行っていくことを発表している。今後も更なる短命県返上が最重要課題ととらえている。

これらの課題の解決のために、青森県健康増進計画「健康あおもり21(第2次)」を推進し、県民の健康づくりを図るには、「健康啓発」が大切であり、全県的な取組みが必要である。県民一人ひとりはもちろん、あらゆる組織団体と連携し、継続した支援や啓発をしていくことが重要と考え活動した。

本会は、管理栄養士・栄養士が、全ての人びとの「自己実現を目指し健やかによりよく生きる」とのニーズに応え、保健・医療・福祉及び教育等の分野において、専門職業人としての倫理と科学的かつ高度な技術に裏付けられた「食」と「栄養」の指導をとおして、県民の公衆衛生の向上に寄与することを事業目的としている。

【事業の概要】

令和5年度の事業については、昨年度同様に感染症予防対策をとりながらも、公益社団法人として目的を達成するために、オンライン・会場開催とのハイブリット形式で、定時総会ははじめ全ての研修会、会議等を開催することができた。今年度3回目となる秋の研修会は、全て対面で各職域が一堂に会した自己研鑽と会員増を目的として開催し、120名余が集まる研修会となった。

また県民に向けた重点事項としては、「健康啓発」をテーマに、各地区開催で行われる「健康まつり」をとおし、「食の大切さ」「減塩の必要性」「フレイル予防」等について継続して行った。継続して取り組んできた減塩プロジェクトでは、減塩レシピコンテストの開催や活動の節目となる10年目を迎え、これまでの取り組みの集大成として「減塩プロジェクト活動報告」をまとめ上げた。

今後増大する在宅療養者への対応として、地域における在宅医療・介護の連携推進を掲げ、地域包括支援に管理栄養士・栄養士が携わる上で、多職種との連携かつ適切な栄養管理が実践できる人材育成を進めるため今年度も研修会を開催した。また県内各地で行われる地域ケア会議等の施策に積極的な参加、高齢者を対象としたフレイル予防として地域住民のつながり・交流の場である「つどいの場」に積極的な支援をすすめるなかで低栄養予防にも努めてきた。

また、近年多発する自然災害により、余儀なく避難される被災者で要配慮者への食支援活動として、日本栄養士会の「JDA-DAT」活動に加勢し「DATあおもり」活動として能登半島地震への派遣を行った。また「DATあおもり」の組織強化やスタッフ養成研修会を開催した。さらに要配慮者への特殊栄養食品ステーションの設置、県との協力体制について検討をしてきた。

また組織の基盤である会員増に向けても、非会員施設にダイレクトメールを送り入会を促す等、積極的に取り組んだ。

公益目的事業 「県民の栄養改善、疾病予防及び健康増進を図るための普及啓発及び管理栄養士・栄養士の資質向上に関する事業」

<事業の目的>

近年、少子高齢化や核家族化の急速な進展に伴い、肥満傾向の子どもの割合が全国で最も高く、成人・子どもとも朝食摂取率のさらなる減少、野菜・果物不足等の食生活の面での課題が指摘されている。そこで管理栄養士及び栄養士がそれらの課題に適正に対応し、県民の栄養改善、疾病予防及び健康増進が図られるよう、普及啓発と管理栄養士・栄養士の資質向上に関する事業を行うことを目的とするものである。

<事業の内容>

1. 管理栄養士・栄養士の資質向上のための研修事業

管理栄養士・栄養士が行う栄養指導・助言の質を高めるため、管理栄養士・栄養士の知識や技術向上に関する研修会等を開催した。

1-1 栄養学術研究会

管理栄養士・栄養士及び栄養に関心のある県民が一堂に会し、広く健康と栄養または食に関する知識を得ることを目的に、栄養学術研究会は、春季と秋季（秋の研修会）を開催し、春季は市民公開講座、特別講演、一般演題を軸に、秋季は職域研修会を軸とした、より充実した研修内容を盛り込み開催した。開催期間は感染拡大防止を踏まえ1日開催とした。春季の参加者は市民公開講座63名（集合26名、オンライン37名）、特別講演79名（集合31名、オンライン48名）であった。

5月27日 リンクステーションホール青森

市民公開講座「歯科と栄養」

医療法人ウェルビーイング津島歯科院長

医学博士 津島 克正 氏

特別講演「食物アレルギー患者の対応について」

帝京大学医学部小児科・小児アレルギー

センター長 小川 茂俊 氏

一般演題 会員より7題発表

1-2 生涯教育研修会

管理栄養士・栄養士が常に最新の知識や技術を学び得るための研修会を集合とオンラインのハイブリットで開催した。申込み者は延べ931名で、受講者は延べ718名（集合186名、オンライン532名）であった。

6月17日 リンクステーションホール青森 4階小会議室およびオンライン

①食物（栄養）と医薬品の相互作用

受講者 51名

城西大学薬学部医療栄養学科 薬物療法学講座

教授 須永 克佳 氏

②フレイル予防と指導方法（行動科学）

受講者 68名

高崎健康福祉大学大学院 健康福祉学研究科

教授 木村 典代 氏

③メンタル不調者の背景にある「栄養型うつ」～栄養精神医学の立場から～

受講者 57名

日本栄養精神医学研究会会長/医療法人山口病院

副院長 奥平 智之 氏

7月15日 リンクステーションホール青森 4階小会議室およびオンライン

④スポーツをする人のニーズに合った食事計画の立て方（増量・減量）

受講者 44名

(株) Food Connection 代表 公認スポーツ栄養士

橋本 玲子 氏

⑤アミノ酸・タンパク質の代謝

受講者 45名

青森中央短期大学 食物栄養学科

教授 棟方 秀和 氏

⑥災害時における栄養・食生活支援について

受講者 48名

熊本県立こころの医療センター

大倉 香澄 氏

8月26日 リンクステーションホール青森 4階小会議室およびオンライン

⑦小児肥満の食生活支援

受講者 47名

大阪府立病院機構 大阪母子医療センター

西本 裕紀子 氏

⑧栄養情報データ集積に向けた栄養診断（判定）の記録～PES報告～

受講者 42名

虎ノ門病院 栄養部

土井 悦子 氏

9月16日 リンクステーションホール青森 4階小会議室およびオンライン

⑨“心不全 とは”？～病態から治療、栄養管理について～

受講者 64名

弘前大学附属病院 循環器

西崎 史恵 氏

- ⑩食の観点から見た精神障害者のための地域包括ケアシステムの取り組み 受講者 40 名
 栃木県保健福祉部健康増進課 健康長寿推進班 主査 池内 寛子 氏
- ⑪「褥瘡予防・管理ガイドライン」2015 第 4 版から 7 年ぶりの改訂 受講者 65 名
 十和田市立中央病院 看護局 褥瘡管理者 師長 木村 英子 氏
- 11 月 18 日 リンクステーションホール青森 4 階小会議室およびオンライン

⑫認知症高齢者の食支援 受講者 66 名
 大阪大学大学院研修科 顎口腔機能治療学教室 准教授 野原 幹次 氏

⑬明るい職場・家庭とメンタルヘルス～ストレスとコミュニケーションを考える～ 受講者 36 名
 青森大学社会学部 教授 船木 昭夫 氏

⑭在宅訪問栄養食事指導の制度と実際
 ～在宅療養者の食と栄養の悩みに寄り添うために～ 受講者 45 名
 訪問栄養サポートセンター仙台 在宅栄養専門管理栄養士・介護支援専門員 塩野崎 淳子 氏

1-3 栄養ケア活動支援整備事業

地域包括支援システムへ管理栄養士・栄養士が参画し、栄養ケアを充実させるための研修会として
 栄養ケア・ステーションスキルアップ研修会を開催した。

11 月 1 日～12 月 31 日「TNT-Geriatric for Dietician(TNT-Geri-D)」を用いた e ラーニングにより、
 自宅や職場等で空いた時間を利用して、自己研鑽ができる研修会を開催した。 参加者 27 名

1-4 初任者研修会

管理栄養士・栄養士として初任者に対して仲間の技術的サポートと業務の検証を目的に、先輩管理栄養
 士によるレクチャーや相談でのスキルアップ研修会を開催した。 オンライン研修 参加者 6 名

1-5 各地区および職域会が企画運営する研修会

各地区および各職域で行う研修会で、より地域性、専門的な研修をテーマとし集合とオンラインのハ
 イブリットで開催した。

青森地区 11 月 23 日「UFD(ユニバーサルデザインフード)の視点から学会嚥下分類を考える」
 参加者 8 名(内非会員 1 名)

1 月 27 日 「多職域の栄養士・管理栄養士の業務を学び、日々の業務に活かそう！」
 参加者 14 名(内非会員 3 名)

弘前地区 6 月 24 日 「ヤクルト」 オンライン工場見学 参加者 29 名

12 月 16 日 「栄養ケア・ステーションの仕組みと実際の活動について」
 参加者 13 名

八戸地区会 9 月 30 日 「摂食嚥下障害と摂食時の栄養士の対応
 ～ミールラウンドの着眼点を含めて～」 参加者 28 名

上十三地区 6 月 11 日 「口腔と栄養の関わりについて」 参加者 37 名(内非会員 16 名)
 シンポジウム「要支援・介護者の低栄養改善に多職種が口腔と栄養の
 ケアに期待すること～地域包括ケアシステムの構築にむけて～」

9 月 23 日 「食育紙芝居+地産地消バルーンアートワークショップ」
 参加者 16 名(会員 9 名、親子参加 6 組)

2 月 23 日 「栄養士による栄養士のための交流会 昼の部&夜の部」 参加者 17 名

五所川原地区 10 月 20 日 「災害時の栄養管理について」 参加者 10 名

むつ地区 10 月 21 日 「手打ちそば体験」 参加者 6 名

11 月 17 日 「手軽に楽しく出来る運動方法について学ぼう」 参加者 7 名

医療 2 月 10 日 座談会「わたし達のスキルアップ術」 参加者 39 名(内非会員 1 名)
 「患者、スタッフ、そして自身に寄り添うための心理支援」

研究教育 2 月 17 日 「臨地実習・校外実習の課題について意見交換」 参加者 18 名

1-6 秋の研修会

10 月 28 日 リンクステーションホール青森にて集合で開催した。参加者は学術講演 121 名(内非会
 員 44 名)、各職域セミナー 128 名(内非会員 44 名)であった。

学術講演

「短命県返上で今、管理栄養士・栄養士に求められるもの～QOL 検診～（岩木データ等）」

弘前大学大学院 医学研究科 社会医学講座 特任教授
青森県医師会 すこやか力推進センター センター長
青森県総合健診センター理事長 中路 重之 氏

各職域セミナー

医療 「R4 診療報酬改定を踏まえた各施設の取り組み」

弘前大学医学部附属病院 管理栄養士長 三上 恵理 氏
弘前大学医学部附属病院 管理栄養士 齊藤 誠 氏
青森県立中央病院 管理栄養士 田澤 優一 氏

福祉・地域活動

「次期介護報酬改定必見～栄養ケア・マネジメントキャリアアップの必要性～」

パート1 《今しか聞けない!!!2024年4月より管理栄養士がいても栄養ケア・マネジメントを行っていないと減算》

介護老人保健施設つがる 管理栄養士 築館 寛子 氏

パート2 栄養ケアプロセスを活用した栄養ケア・マネジメントの事例発表

介護老人保健施設ニッコウキスゲ 管理栄養士 坂本 悦子 氏
障害者支援施設 拓光園 管理栄養士 館山 郁子 氏

学校健康・公衆衛生

「オンライン工場見学」 (株) ヤクルト本社 兵庫三木工場 木下 史都絵 氏

「SNS の活用方法について」 むつ保健所 健康増進課 課長 蓬端 恵久美 氏

1-7 栄養ケア・ステーションスキルアップ研修会

「食」と「栄養」の専門職としての資質向上を目的として、11月1日～12月31までの期間、TNT-Geriatric for Dietician(TNT-Geri-D)」を用いたeラーニングにより、自宅や職場等で空いた時間を利用して、自己研鑽ができる研修会を開催した。栄養管理の基礎知識から、フレイル・サルコペニアの知識、経腸栄養や静脈栄養、各疾患における臨床栄養学のエッセンスを学んだ。参加者 27名

1-8 その他委託事業等で行う研修会等

県委託事業は、企業の食生活改善セミナー12回およびホームページを活用した広報を行った。

2. 普及啓発事業

県民の生涯を通じた健康づくりの実践、生活習慣病の疾病予防策等に関して調査研究するとともに、以下により、管理栄養士・栄養士の活動PRと、県民の栄養改善、疾病予防及び健康増進に関する普及啓発に取り組む。「健康日本21(第2次)」「健康あおもり21(第2次)」普及推進等や、本会が行う減塩プロジェクト活動や食育活動などが該当する。

2-1 栄養相談対応事業

メールにて、県民からの栄養に関する相談を受け、本会の管理栄養士又は栄養士が適切な指導・助言を行った。

また、毎年度各市町村が主催する健康まつり等のイベントにおいては、青森地区、弘前地区、八戸地区、上十三地区にて開催され、減塩活動のブースを設けパネル展示等を行った。

・栄養相談対応事業 ホームページを利用し、広く県民からの栄養・食事相談に対して適切に対応した。

ホームページ (随時) 5件

・「健康日本21(第2次)、健康あおもり21(第2次)普及推進事業

5月28日 八戸市認知症スタンプラリー(パネル展示と栄養相談) 参加者 280名

7月9日 弘前健康まつり 参加者 320名

9月2日 五所川原市認知症フォーラム 参加者 866名

10月21日～23日 八戸市健康フェスタ2023(パネル展示) 参加者 5429名

10月22日	十和田市南コミュニティセンター	参加者 98名
11月11日	あおもり健康寿命延伸フェア 2023	イベント参加者 45名 来場者 1295名
11月5日	東北町健康・福祉まつり	参加者 410名
11月18日	黒石健康まつり	参加者 280名

・減塩プロジェクト事業 青森県栄養士会が独自で、県民の健康寿命アップのために塩分の摂取量の減少を目的とした取り組みを行った。地域への啓発活動の一環として10年に及ぶ減塩プロジェクト活動報告をまとめた。

減塩プロジェクト委員会 6月10日、8月19日、9月9日、10月14日、11月4日、12月9日、1月13日

減塩親子料理教室 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催できなかった。

2-2 管理栄養士・栄養士派遣事業（栄養ケア・ステーション含む）

本会会員の中で一定要件（生涯教育研修会受講済み等）を満たして、講師派遣登録している会員を、各種団体が行う講演会、研修会等における栄養改善に関する講師等として派遣した。

また、各種団体との委託契約に基づき、本会会員の管理栄養士又は栄養士を派遣し、栄養相談を受け、栄養ケアや保健栄養指導等の適切な指導・助言を行った。また各種健康増進事業に協力した。

- ・平川市通所型サービスC 34回 対象者 128名
- ・青森市特定保健指導 2回 対象者 2名
- ・青森市低栄養防止事業 対象者 19名
- ・アスリートプログラムサービス 32回 対象者 306名
- ・弘前大学内臓脂肪測定 25回
- ・診療所栄養指導 205件
- ・青森市民大学講座 7回
- ・社員の食生活改善セミナー 10社 12回
- ・東北町一体的実施事業訪問指導業務 対象者 6名（内介入 3名）
- ・その他

青森市乳幼児健康診査 136回、地域ケア会議 35件

さらに、災害時に管理栄養士・栄養士の支援活動を行った（DATあおもり）。

- ・DATあおもり 能登半島地震支援活動 2月19～23日 1回 2名

2-3 情報提供事業

一般県民を対象とした市民公開講座を開催した。

5月27日 リンクステーションホール青森

「歯科と栄養」 医療法人ウエルビーイング津島歯科院長 歯学博士 津島 克正 氏 調理実習等の開催等は、新型コロナウイルスの感染拡大の状況判断から、今年度も見送った。

ホームページにおけるヘルシーレシピや減塩レシピの紹介、研修会の開催情報や本会の広報誌においても情報提供内容の充実を図った。

1. 広報誌「Eiyo Aomori21」を 8月1日、2月1日に発行した。
2. ホームページの充実 各種情報の迅速な掲載を行った。

その他の事業（相互扶助等事業）

1. 会員向け研修会の開催

今まで感染拡大防止のため開催できなかったが、各地区、各職域で会員の交流や会員増を目的として、オンラインを取り入れて情報交換会や意見交換会を開催した。

2. SNS等の活用

会員へ研修会開催案内やタイムリーな情報提供をおこなうため、SNS等を取り入れ情報発信した。

3. DATあおもりスタッフ育成研修会

3月2日八戸市はちふくプラザねじょうにおいて、新規育成スタッフ14名、リーダー2名、研修スタッフ4名の20名で学び直しを含めた研修会を行った。八戸消防署根城分署の救命救急講習、栄養アセスメント講義・演習、能登半島地震の支援活動として2月19日～23日までDATあおもりでの活動報告があった。

管理事業 本会は、公益目的事業を実施する団体であり、法人運営は目的を達成する基盤として、責任ある執行、健全な財務運営にある。令和5年度も適切な法人運営を行った。

1. 定時総会

- (1) 日 時：5月27日 13:40～14:00
- (2) 場 所：リンクステーションホール青森
- (3) 議案事項：令和4年度事業報告・収支決算の件
- (4) 協議事項：令和5年度事業計画及び予算について
- (5) 総会出席者 78名（会場参加、オンライン参加合わせて）委任状218名

2. 理事会

第1回 理事18名出席、監事1名出席

- (1) 日 時：4月22日 13:00～16:30
- (2) 会 場：リンクステーションホール青森4階小会議室1
- (3) 議 案：〔報告事項〕

1. 令和4年度監査について
2. 各部会・各地区会・各職域会報告
3. 厚生労働大臣表彰および県知事表彰について

〔協議事項〕

1. 令和4年度事業報告および決算について
2. 令和5年度定時総会並びに栄養学術研究会について
3. 令和5年度生涯教育研修会について
4. 令和5年度重点事項について
5. その他 退会届、賛助会員について

第2回 理事19名出席（内オンライン参加者2名）、監事1名出席

- (1) 日 時：6月10日 13:00～16:30
- (2) 会 場：リンクステーションホール青森4階小会議室1
- (3) 議 案：〔報告事項〕

1. 日本栄養士会第1回諮問会議
2. 青森県栄養士会定時総会並びに栄養学術研究会報告
3. 各部会・各地区会・各職域会報告
4. 職務執行状況報告書及び外部委員会報告

〔協議事項〕

1. 令和5年度事業について
2. 秋の研修会について
3. 会員増対策について
4. 市町村行政栄養士配置における要望活動について
5. その他 退会届、職域編成について

第3回 理事16名出席（内オンライン参加者1名）、監事2名出席

- (1) 日 時：9月9日 13:00～16:30
- (2) 会 場：リンクステーション青森4階小会議室1
- (3) 議 案：〔報告事項〕

1. 日本栄養士会定時総会報告
2. 北海道・東北地区栄養士会長会議報告

3. 各部会・各地区会・各職域会報告
4. 職務執行状況および外部委員会の報告

[協議事項]

1. 令和5年度事業について（減塩活動、秋の研修会、初任者研修会、栄養士会説明セミナー、DATあおもりについて）
2. 秋の研修会について
3. 会員増対策について
4. 市町村行政栄養士配置要望活動について
5. 職域の見直しについて
6. その他 9月文書発送締め切り日について

第4回 理事 15名出席（内オンライン参加者1名）、監事1名出席

(1) 日時：12月17日 13:00～16:30

(2) 会場：リンクステーションホール青森小会議室1

(3) 議案：[報告事項]

1. 秋の研修会について
2. 生涯教育研修会について
3. 初任者研修会について
4. 中間監査について
5. 各部会・各地区会・各職域会報告
6. 職務執行状況および外部委員会の報告

[協議事項]

1. 今後の事業について（減塩活動、説明セミナー、栄養ケア活動支援整備事業、DATあおもり、次年度事業および予算について）
2. 次年度の生涯教育研修会について
3. 職域会の見直しについて
4. その他 賛助会員の承認

第5回 理事 17名出席、監事1名出席

(1) 日時：3月9日 13:00～16:30

(2) 会場：リンクステーションホール青森小会議室1

(3) 議案：[報告事項]

1. 県公益法人立ち入り検査
2. 日本栄養士会第2回諮問会議について
3. DATあおもり活動について
4. 各部会、各地区、各職域会報告
5. 職務執行状況および外部委員会の報告
6. その他 「国民スポーツ大会」について

[協議事項]

1. 令和6年度事業計画について
2. 令和6年度事業予算について
3. 令和6年度定時総会並びに栄養学術研究会について
4. 令和6年度情報交換会について
5. 令和6年度生涯教育について
6. 秋の研修会について
7. 令和6年度顕彰候補者について
8. 会員増対策について
9. その他 令和6年度理事会日程について

3. 栄養士会説明セミナー

会員増対策のため、各養成校で栄養士会説明セミナーを実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日本栄養士会パンフレットと青森県栄養士会パンフレットの資料提供と三役による栄養士会情報提供DVDと各養成校の卒業生による体験談を交えたセミナーを行った。

12月21日	青森中央短期大学卒業予定者	34名
1月22日	青森県立保健大学卒業予定者	31名
1月26日	柴田学園大学短期大学部卒業予定者	41名
3月14日	柴田学園大学卒業予定者	31名